

琉球大学学術リポジトリ

ナショナリズム的アジェンダと日本における長引く
危機：
沖縄県における第二次安倍政権下の政策の実施の事例

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: マチエイエフスカ, ベアタ メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/40986

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 星野 英一

印

副査 我部 政明

印

副査 鈴木 規之

印

学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	学生氏名	MACIEJEWSKA BEATA
人文社会科学研究科 比較地域文化専攻	主指導教員	星野 英一
	副指導教員	我部 政明・鈴木 規之
成績評価	学位論文	合格
論文題目	Nationalistic agendas and prolonged crises in Japan: The case of Second Abe administration's policy implementation in Okinawa (ナショナリズム的アジェンダと日本における長引く危機：沖縄県における第二次安倍政権下の施策の実施の事例)	
審査要旨	<p>本論文は、第二次安倍政権（2012～14年）の諸政策を「危機とナショナリズム」という分析視角から検討したものである。1990年代以降の「失われた20年」をはじめとして、少子高齢化、福島原発事故など、今日の日本が多方面において「危機」的な状況にあるとの認識を前提に、そのような状況への対応として注目すべき三つの政策（国家戦略特区、ジェンダー政策、原子力政策）を取り上げ、それらが国内の諸地域にどのような影響を与えているのか、沖縄県の事例に照らして考察している。「危機」を securitize（安全保障化）しナショナリズム的レトリックと結びつけることで、政策・政権への支持を調達し「戦後レジームからの脱却」というナショナリズム的アジェンダの実現を追求しているという本論文の分析には説得力がある。</p> <p>英語で書かれた論文であるが、英語読者のための必要十分な注が提供されていること、先行研究を十分に踏まえていること、特に、危機の理論と政策および戦後日本のナショナリズムの多層性を丁寧に描いていることなど、大いに評価できるものである。</p> <p>以上のことから、審査委員会では3人の委員が一致して、本論文が博士論文のレベルに十分達しているものと認め、合格と判定した。</p>	

様式第14号

琉球大学大学院
人文社会科学研究所委員会 殿

博士論文審査委員会

主査	星野 英一	印
副査	我部 政明	印
副査	鈴木 規之	印

最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	■■■■■	学生氏名	MACIEJEWSKA BEATA
人文社会科学研究所 比較地域文化専攻		主指導教員	星野 英一
		副指導教員	我部 政明・鈴木 規之
成績評価	最終試験	合格	
結果要旨	<p>副査・我部政明の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目などの内容について口頭による最終試験を行った。本論文題目は、Nationalistic agendas and prolonged crises in Japan: The case of Second Abe administration's policy implementation in Okinawa (ナショナリズム的アジェンダと日本における長引く危機：沖縄県における第二次安倍政権下の施策の実施の事例)であった。</p> <p>まず、口頭試問で論文それ自体について質問を行ない、本論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本論文に関連する基礎的な専門知識や自らの論文の研究上の位置づけを問い、研究上の功績があったことを確認した。そして、本論文で取り上げた研究分野に関する授業科目、国際政治学、国際社会学などの視点から、学位に相応しい研究能力とその学識を有していることを確認した。</p> <p>以上の点から、本審査委員会では三人の委員が一致して、その分野における学位の水準に十分達しているものと認め、最終試験に合格と判定した。</p>		